

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等				
事業毎の通番		7	市町村名	白馬村	箇所名(ふりがな)	蔵平(わらびたいら)ほか		
事業概要	事業目的	計画地は、既存の治山事業施工地4地区で管内一円に点在している。各地区は、近年の豪雨等により山腹法面の拡大崩壊、不安定土砂が溪床に堆積、地すべりが再滑動等が発生している。 今後、集中豪雨により下流保全対象(人家、道路等)に甚大な被害をもたらすおそれがあるため、既設谷止工の嵩上げ、土留工を基礎とした斜面整形など既存の治山施設を有効活用するとともに、拡大崩壊等した部分に山腹緑化工や地すべり防止工事を追加施工して山地災害の未然防止を図りたい。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等	大町市道路復旧工事						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家37戸、国道500m、県道300m、市道100m、鉄道500mほかの保全						
	着手年度	平成30年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	6.1	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	谷止工(嵩上げ)1個、山腹工 1.60ha(土留工3個、ポーリング暗渠工 420m、集水井孔内洗浄工 5,200m)			180,000	90,000	81,000	9,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家37戸、国道500m、県道300m、市道100m、鉄道500mほかの保全						
	間接的効果(定量的・定性的)	なし						
評価の視点	必要性	○人家戸数:	37戸	○公共施設数:	国道他 900m、鉄道 500m、官公署1箇所	評価		
		○災害時要援護者関連施設の有無:	なし	○保安林・林業用施設:	11.5/31.0×100=37.1%	B		
	重要性	○過去の災害履歴:	H29.10台風21号	○交通遮断による地域経済への影響:	国道の遮断により物流の停滞、観光への影響が懸念される。	評価		
		○地域防災計画上の位置付け:	山地災害対策の推進が大町市地域防災計画に記載されている。	A				
	効率性	費用便益比(B/C)	B/C=6.07	事業期間	4年間(H30~H33)	評価		
		工法等の比較検討	検討あり	流域の総合調整	市町村と調整中	A		
緊急性	流域の地形、地質	第3紀層かつ地すべり地形含む	平均溪床勾配(平均山腹勾配)	山腹平均勾配 39°	評価			
	下流の堰堤等の整備状況	あり(概ね満砂)	山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域	Aランク	A			
計画熟度	事業情報の共有	地元説明会を開催	地域の取り組み	地元から要望があり協力的である	評価			
	地域の合意形成	事業実施について、市町村、地元と合意形成が図られている。	住民との協働	なし	B			
所管意見	当該地は、近年の豪雨等により山腹の拡大崩壊や溪流内の不安定土砂の堆積、地すべりの再滑動等が発生している。今後の降雨等による土砂の流出や既存の治山施設の機能低下により下流保全対象への被害が発生する恐れがあるため、既存の治山施設を有効活用した機能強化対策を行う必要がある。	採択状況	○	総合評価	A			
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。							

事業概要説明図表	【位置図】		平面図	
	【状況写真】		拡大崩壊の状況	
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	4地区とも過去に災害が発生したため、治山事業で整備した経過がある。最近、山腹の拡大崩壊や地すべりの再滑動が発生し道路等の保全対象も近接しているため、地域住民の災害への不安が高まっている。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	今後の豪雨等で人家、道路等が被災するおそれがあるので、早期に既設治山施設を点検、修繕及び機能強化してもらいたいと要望されている。		
	③事業説明等の経緯	平成30年度に工事を計画する箇所は、地元で保安林制度、治山事業計画を説明した。今後、測量設計、地すべり観測を計画している箇所は、調査等終了後に関係者へ事業計画を説明する予定。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	地すべりが再滑動した箇所は、大町市による道路復旧工事の計画がある。		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事箇所が観光客の多く訪れる場所に近接しているため、自然環境に調和する木材利用工種を積極的に計画している。		
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により道路、鉄道の安全が確保され、物流、観光客入込み等への不安材料が解消されるため、地域経済の活性化が期待される。		
	⑦その他	なし	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 41' 23" 00 東経:E 137° 52' 2" 00